

# HDD 2 台装着モデルをお使いの方へ

C79411001

HDD2 台装着モデル（以降、本モデル）は、FDD 装着場所（FDD の代わり）に 2 台目の HDD を装着しています。このため、FDD は装着されていません。

コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』には、FDD が装着されていることを前提に記載しているため、本モデルをお使いの場合は、ユーザーズマニュアルの記述と一部異なる部分があります。

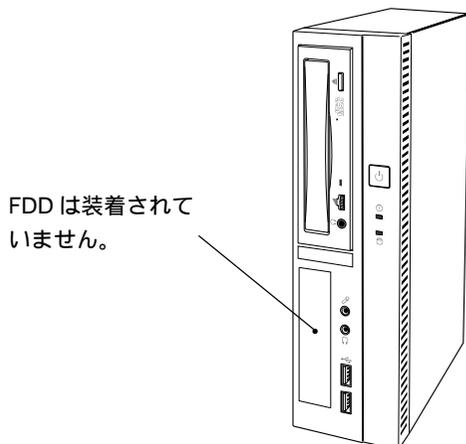
本書では、ユーザーズマニュアルの記述と異なる情報、本モデルを使用する上で大切な情報や、USB FDD（オプション）の使い方などについて記載しています。本モデルをお使いになる前に必ずお読みください。

## 目次

本モデルの仕様 .....	2
HDD 領域について .....	2
バックアップディスクの作成について .....	2
BIOS メニューについて .....	3
USB FDD からの起動 .....	3
USB FDD の使い方（オプション）.....	4
取扱上の注意 .....	4
USB FDD の接続 .....	5
USB FDD の取り外し .....	5
FD のセット方法 .....	6
FD の取り出し方法 .....	6
FD の使い方 .....	6
「困ったときに」について .....	7
Windows を再インストールする前に .....	7
ドライブ構成 .....	7
重要なデータのバックアップ .....	7
Windows の再インストール手順 .....	8

## 本モデルの仕様

本モデルの外観は、次のとおりです。ユーザーズマニュアル中のイラストと異なります。



FDDは装着されて  
いません。



制限

本モデルに装着している2台のHDDは、交換・増設はできません。

### HDD 領域に ついて

本モデルに装着しているHDDのHDD領域は、2台とも、すべての領域を1つの領域として確保し、NTFSでフォーマットしています。

## バックアップディスクの作成について

バックアップディスクとは、購入時にHDDにインストールされていて、「ドライバCD」などの添付ディスクに登録されていないドライバやソフトウェアを、FDにバックアップするものです。

バックアップディスクは、「バックアップFD作成ユーティリティ」を使用してFDDで作成します。本モデルにはFDDが装着されていないため、バックアップディスクを作成する際は、USB FDDを使用してください。

USB FDDは、弊社オプションでご用意しています。オプションは、弊社の製品カタログか下記ホームページをご覧ください。

<http://www.i-love-epson.co.jp>

本モデルでバックアップディスクの作成が必要なドライバの例は、次のとおりです。「バックアップFD作成ユーティリティ」に表示されるすべてのドライバやソフトウェアのバックアップディスクを作成してください。

SCSI ドライバ

Windows 2000 インストールモデルで SCSI ボードをお使いの場合

モデムドライバ

Windows 2000 インストールモデルでモデムボードをお使いの場合

マニュアルディスク

バックアップディスクの作成方法は、ユーザーズマニュアルをご覧ください。



『ユーザーズマニュアル』 - 「使い始めるまでの準備」 -

「セットアップ終了後の作業」 - 「バックアップディスクの作成」



制限

バックアップディスクを作成する前に、HDDをフォーマットしてしまうと、バックアップディスクが作成できません。

バックアップディスクを作成しないと、ドライバやソフトウェアを再インストールすることができません。

## BIOSメニューについて

本モデルでは、BIOSセットアップユーティリティの次の項目の設定値が、ユーザーズマニュアルの記載と異なります。

項目 : 「Main メニュー」 - 「Legacy Diskette」

設定値 : None

\* USB FDD をお使いの場合も、上記の設定で問題ありません。

「Load Setup Defaults」を実行してBIOS Setup ユーティリティの設定値をもとに戻した場合は、上記の設定値が「1.44M,3.5in.」に変更されます。「Load Setup Defaults」を実行した場合は、必ず「None」に変更してください。

### USB FDD からの起動

USB FDD から起動させる場合は、「BIOS Setup ユーティリティ」 - 「Boot」メニュー画面 - 「Removable Device」の「USB FDD」を選択して、起動順位を1番にしてください。

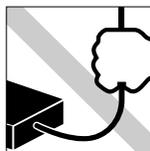
## USB FDDの使い方 (オプション)

USB FDD( オプション )の取扱方法について説明します。本モデルと同時にUSB FDDを購入した場合にお読みください。

**取扱上の注意** オプションのUSB FDDを使用するときは、次の注意事項を必ず守って、正しく取り扱ってください。



落としたり、衝撃を与えないでください。故障、誤動作の原因になります。



着脱はプラグ部分を持って行ってください。ケーブルを持ってコネクタの着脱を行わないでください。ケーブルの断線や接触不良の原因になります。



上に物を置かないでください。故障、誤動作の原因になります。



FDD本体をぶらさげた状態で使用しないでください。ケーブルの断線や接触不良の原因になります。



表面を上にして水平に置いて使用してください。裏返したり傾けて使用すると、読み書きエラー発生の原因になります。

## USB FDD の接続

コンピュータ前面もしくは背面のUSB コネクタに接続します。

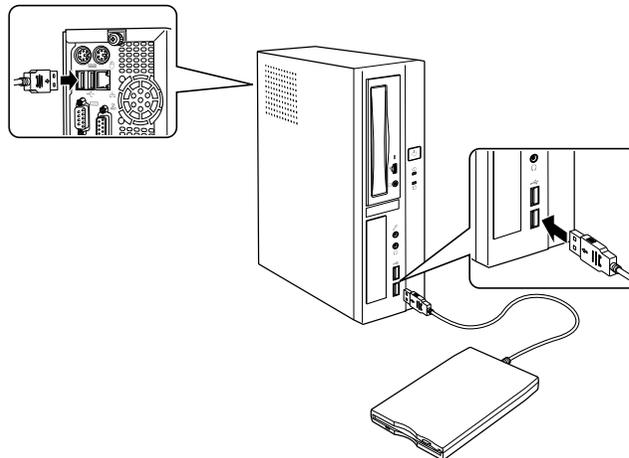
USB FDD は、必要なときだけ接続して使うことができます。

USB FDD は、前面側・背面側のどのUSB コネクタでも接続できます。

USB コネクタは、本機の電源が入った状態で接続できます。

システムが登録されているFD をセットして、本機の電源を入れると、USB FDD から起動することができます。

 p.3 「USB FDD からの起動」



## USB FDD の取り外し

USB FDD の取り外しは、次の方法で行います。

1

タスクバーに表示されている次のアイコンをクリックします。



<Windows 2000 の場合 >



<Windows XP の場合 >

2

「USB Floppy - ドライブを安全に取り外します」をクリックします。

3

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されたら、USB FDD のUSB コネクタを抜きます。

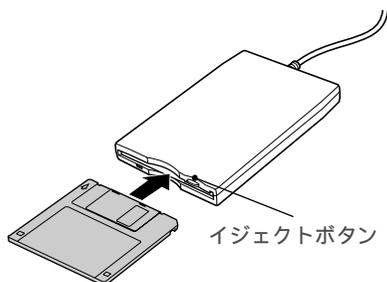
## FDのセット方法



アクセスランプ点灯中にFDを取り出したり、コンピュータをリセットしないでください。  
コンピュータの電源を切る場合やコンピュータをリセットする場合は、必ずFDを取り出してください。

1 ラベル面を上に向け、USB FDDに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

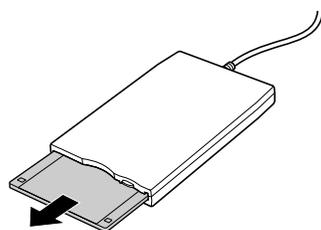
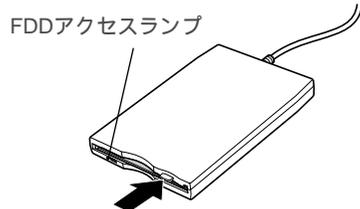
2 正しくセットされると、イジェクトボタンが押し出されます。



## FDの取り出し方法

1 FDD アクセスランプが点灯していないことを確認し、イジェクトボタンを押します。

2 FDが飛び出しますので、静かに引き抜きます。



## FDの使い方

FDのフォーマットやライトプロテクトなどFDの使用方法については、ユーザーズマニュアルをお読みください。



『ユーザーズマニュアル』 - 「コンピュータの基本操作」 -

「FDD (フロッピーディスクドライブ) を使う」

## 「困ったときに」について

ユーザーズマニュアルの「困ったときに」をお読みになる際は、「FDD」を「USB FDD」に読み替えてください。ただし、『ユーザーズマニュアル』-「こんなときは」-「困ったときに」-「FDDの不具合」の内容については、下記項目を、追加または削除してください。

### 追加

現象 FDに正常にアクセスできない。

確認と対処 FDDのUSBコネクタが、コンピュータに正しく装着されているか確認してください。

### 削除

現象 FDに正常にアクセスできない。

確認と対処 別のFDでも読み書きできない場合には、「BIOS Setupユーティリティ」-「Mainメニュー画面」-「Legacy Diskette A」-が「1.44M,3.5 In.」となっているか確認してください。

## Windowsを再インストールする前に

本モデルはHDDを2台装着しているため、『ユーザーズマニュアル』-「ソフトウェアの再インストール」の記載と一部異なる部分があります。  
次の事項を必ず確認してから、Windowsを再インストールしてください。

### ドライブ構成

本モデルの購入時のドライブ構成は、次のとおりです。『ユーザーズマニュアル』-「ソフトウェアの再インストール」-「ソフトウェアの再インストールを行う」-「インストール作業における確認事項」-「ドライブ名」に記載している内容と異なります。CD-ROMドライブのドライブ名(Eドライブ)は、HDD領域の数により異なります。

Aドライブ : FDD (USB FDDを使用している場合)  
Cドライブ : HDD (1台目のHDD)  
Dドライブ : HDD (2台目のHDD)  
Eドライブ : CD-ROMドライブ

### 重要なデータのバックアップ

Windowsを再インストールするときは、HDDをフォーマットするため、1台目のHDDのデータはすべて消去されます。必要なデータは、別のメディアなどにバックアップしておいてください。

また、2台目のHDDをフォーマットしてしまったなど、万一の場合に備えて、2台目のHDDに登録している大切なデータも、別のメディアなどにバックアップしておいてください。

## Windows の再インス トール手順

Windowsを再インストールするときは、手順が一部異なります。『ユーザーズマニュアル』 - 「ソフトウェアの再インストール」 - 「ソフトウェアの再インストールを行う」 - 「Windowsのインストール」の手順の一部を、下記内容に読み替えてください。

### Windows 2000 インストールモデルの場合

読替部分 : 「Windows 2000 インストールモデルの場合」 - 手順1 ~ 手順4

読替内容

- 1 「リカバリCD」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 起動時に「Press any key to boot from CD.」と表示されたら、どれかキーを押します。手順3の画面が表示されるまで少し時間がかかります。一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。
- 3 次のように表示されたら、**Esc** を押します。CドライブにWindowsをインストールするためです。  
MB ディスク x x のパーティション  
D:パーティション2[ NTFS ]\*\*MB( \*\*MB 空き )  
に Windows 2000 をインストールします。・・・  
「D」は、1台目のHDD領域の数により異なります。

以降の手順は、ユーザーズマニュアルと同様です。「Windows 2000 インストールモデルの場合」 - 手順5以降を参照して、Windowsの再インストールを続けてください。

### Windows XP インストールモデルの場合

読替部分 : 「Windows XP インストールモデルの場合」 - 手順1 ~ 手順4

読替内容

- 1 「リカバリCD Disc1」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 起動時に「Press any key to boot from CD.」と表示されたら、どれかキーを押します。手順3の画面が表示されるまで少し時間がかかります。一定時間内にキーを押さないと、HDD内のWindowsが起動してしまいます。
- 3 次のように表示されたら、**Esc** を押します。CドライブにWindowsをインストールするためです。  
MB ディスク x x のパーティション  
D:パーティション2[ NTFS ]\*\*MB( \*\*MB 空き )  
に Windows XP をインストールします。・・・  
「D」は、1台目のHDD領域の数により異なります。

以降の手順は、ユーザーズマニュアルと同様です。「Windows XP インストールモデルの場合」 - 手順5以降を参照して、Windowsの再インストールを続けてください。



**r100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキを使用しています。

03.06.13 ( EP )